

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様								必須
19							再来受付機	
19	1						基本要件	
19	1	1					基本機能	
19	1	1	1				医療情報システムと再来受付機システムをTCP/IPのLAN接続をし、ソケット通信で接続できること。	○
19	1	1	2				再来患者、および予約患者の受付ができること。	○
19	1	1	3				二次元バーコードを印字した、受付票を印字できること。	
19	1	2					受付機本体概要に関し、以下の要件を満たすこと。	
19	1	2	1				制御装置、表示装置、受付票発行プリンタ、カード読取装置を内蔵した一体型装置であること。	○
19	1	2	2				画面操作部が、車椅子の患者、お年寄りにも配慮してあること。	○
19	1	2	3				自然な姿勢にて無理なく操作できる高さであること。	○
19	1	2	4				設置台には手荷物を置けるスペースがあること。	○
19	1	2	5				表示部分は、19インチ以上のカラー液晶ディスプレイであること。	○
19	1	2	6				人感センサーを内蔵し、診察券や受付票の取り忘れを防止することが可能なこと。	○
19	1	2	7				音声ガイダンス機能を備えていること。	○
19	1	2	8				カードリーダはオートフィード式であること（スライド式、挿抜式は不可）	○
19	1	2	9				ハードディスクレス機構により、静音で駆動部の故障を抑えた構造であること。	○
19	1	2	10				ハードディスクの代わりにSSDを搭載していること。	○
19	1	3					患者識別機能に関し、以下の要件を満たすこと。	
19	1	3	1				現在発行済みの診察券に対応していること。	○
19	1	3	2				診察券を取り忘れた場合、画面・音声メッセージによるお知らせが可能なこと。	○
19	1	4					操作画面に関し、以下の要件を満たすこと。	
19	1	4	1				待受け・診察券排出画面には患者に判りやすいよう、アニメーション表示であること。	○
19	1	4	2				画面操作は、「診療科選択」「行為選択」「医師選択」の3階層から操作が可能なこと。 要望により1階層、2階層と運用に合わせることも可能なこと。	○
19	1	4	3				診療科選択画面には最大16診療科ボタンを1画面に表示可能なこと。 16診療科を超える場合は「次ボタン」にてそれ以上を表示可能なこと。	○
19	1	4	4				1画面に表示できる診療科ボタンの数を打ち合わせ時に選択できること。	○
19	1	4	5				診療行為選択画面には最大12行為ボタンを1画面に表示可能なこと。	○
19	1	4	6				医師選択画面には最大12医師ボタンを1画面に表示可能なこと。	○
19	1	4	7				1度の操作で最大5科まで受付が可能なこと。	○
19	1	4	8				受付内容表示時に患者氏名の表示されること。	○
19	1	4	9				条件により（保険証確認日から換算など）保険証確認メッセージをカード排出画面または、カード挿入時に表示することができ、注意を促すことが可能なこと。	○

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
19	1	4	10			誤った方向での診察券挿入時、磁気読み取り失敗時、診察券以外のカード挿入時にエラーを表示することが可能なこと。	○
19	1	5				受付票出力部に関し、以下の要件を満たすこと。	
19	1	5	1			出力プリンタは、サーマルプリンターを搭載していること。	○
19	1	5	2			サーマルプリンタに用紙をセットする際、オートフィード機能により用紙交換が容易に行えること。	○
19	1	5	3			サーマルプリンタに用紙の残量確認が本体側面から目視できること。	○
19	1	5	4			サーマルプリンタはプレゼンター機能を有すること。	○
19	1	5	5			ANK、漢字JIS第一、第二水準の印字ができること。	○
19	1	5	6			受付票を取り忘れた場合、画面・音声メッセージによるお知らせが可能なこと。 また、管理PCに通知し、警告表示ができること。	○
19	1	5	7			用紙残量がなくなった場合、管理PCに通知し、警告表示ができること。	○
19	1	6				制御部に関し、以下の要件を満たすこと。	
19	1	6	1			自動再来機の自動起動/終了時刻を設定できること。	○
19	1	6	2			自動再来機の機器毎の動作スケジュール（受付、時間外、予約のみ受付）を設定できること。	○
19	1	6	3			自動受付機の手動起動、手動終了が可能であること。	○